



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年2月9日

上場会社名 株式会社 エヌアイディ 上場取引所 大  
 コード番号 2349 URL <http://www.nid.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 鈴木 清司  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長（氏名） 下山 和郎（TEL）03（3365）2621  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,626	1.3	516	△6.0	535	△5.7	174	△26.5
23年3月期第3四半期	10,494	△1.6	549	△12.7	568	△11.3	237	△40.7

（注）包括利益 24年3月期第3四半期 148百万円（△37.6％） 23年3月期第3四半期 238百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第3四半期	46	12	—	—
23年3月期第3四半期	62	73	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
24年3月期第3四半期	10,674		6,088		57.0	
23年3月期	10,660		6,110		57.3	

（参考）自己資本 24年3月期第3四半期 6,088百万円 23年3月期 6,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	—	—	—	—	—	45	00	45	00
24年3月期	—	—								
24年3月期（予想）			—	—	—	—	45	00	45	00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	14,750	0.8	880	△5.9	900	△9.5	420	△6.2	110	94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	4,369,830株	23年3月期	4,369,830株
24年3月期3Q	584,237株	23年3月期	584,237株
24年3月期3Q	3,785,593株	23年3月期3Q	3,785,593株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」（3）連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、甚大な被害をもたらした東日本大震災による厳しい状況から徐々に持ち直しの動きが広がりましたが、欧州財政危機の深刻化による海外景気減速や歴史的な円高の継続等の影響により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界においては、このような環境のもと企業はIT投資に慎重な姿勢を示しており、受注環境は依然として厳しい状況にあります。

こうした状況の中、当社グループは、既存顧客に対する現場営業の徹底と、「とる営業」から「生み出す営業」への転換などにより営業体制を強化し、受注獲得に努めました。また、既存分野の事業に加えて付加価値ビジネスへも取り組み、当社グループの技術を生かしつつ新たな事業領域の拡大を目指しております。その中心として当社独自に開発した、Android向けサービスプラットフォーム「Nstylist」（注1）の販売展開及び「Nstylist」を利用したスマートフォン向けアプリ開発に注力しております。

売上面では、NID東北が震災の影響により受注減となりましたが、当社の特徴であるバランス経営の強みを生かし、より密にグループ間相互で連携し、売上増強に努めました。また、収益面では、超過勤務管理の徹底や非稼働人員の撲滅等の施策を実施しております。しかしながら一部で不採算プロジェクトが発生し収益面で影響が出ております。また、平成23年度税制改正法及び復興財源確保法の公布にともない、実効税率が変更となった影響による繰延税金資産の取り崩しのため、法人税等調整額が増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高10,626百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益516百万円（同6.0%減）、経常利益535百万円（同5.7%減）、四半期純利益174百万円（同26.5%減）となりました。

注1「Nstylist」：タブレットやスマートフォンなどのAndroid OS端末に搭載することで、企業のニーズに対応するアプリケーションサービスを簡単に作成・提供できます。また、専用サーバーの「Nstylist server」と「Nstylist」搭載端末がダイレクトに連携し、シームレスな情報管理を実現するとともに、システムインフラの保守・運用を総合的にサポートします。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①通信システム事業

当事業では、自動車やスマートフォン関連の受注が増加しましたが、一部で不採算プロジェクトが発生し収益面で影響が出ております。この結果、売上高は2,331百万円（前年同四半期比14.7%増）、営業利益2百万円（同94.9%減）となりました。

#### ②情報システム事業

当事業では、生損保、共済関連の受注は安定的に推移しましたが、流通・製造、官公庁の受注は減少しました。この結果、売上高は2,100百万円（同1.5%減）、営業利益193百万円（同2.6%増）となりました。

#### ③ネットワークソリューション事業

当事業では、運輸業や生損保、物流等の主要顧客からの受注は安定的に推移しましたが、官公庁関連の受注は減少しました。この結果、売上高は3,228百万円（同6.8%減）、営業利益144百万円（同24.0%減）となりました。

#### ④NID・IS

当事業では、データ入力関連の受注は減少しましたが、システム開発の受注は増加しました。この結果、売上高は1,880百万円（同22.1%増）、営業利益102百万円（同109.2%増）となりました。

#### ⑤NID・IE

当事業では、顧客との関係を強化して受注確保に努めるとともに稼働率の向上に取り組みました。この結果、売上高は615百万円（同0.5%増）、営業利益64百万円（同108.6%増）となりました。

#### ⑥NID東北

当事業では、震災の影響により電力関連顧客のIT投資が延期され、厳しい状況で推移しました。この結果、売上高は469百万円（同34.1%減）、営業利益4百万円（同84.7%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は8,340百万円となり、前連結会計年度末に比べ123百万円増加いたしました。これは主に売掛金が708百万円減少したこと、現金及び預金が533百万円、仕掛品が364百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は2,334百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が96百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は10,674百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加いたしました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が447百万円減少したこと、短期借入金が410百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は2,573百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円増加いたしました。これは主に退職給付引当金が40百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は4,586百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円増加いたしました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が26百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は57.0%（前連結会計年度末は57.3%）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日の「平成23年3月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想を修正しております。詳細は本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,934,693	5,468,004
受取手形及び売掛金	2,419,087	1,712,519
有価証券	1,038	1,039
仕掛品	213,083	577,826
繰延税金資産	435,309	208,565
その他	213,186	372,176
流動資産合計	8,216,398	8,340,132
固定資産		
有形固定資産		
土地	136,767	136,767
その他（純額）	100,776	99,127
有形固定資産合計	237,544	235,895
無形固定資産		
ソフトウェア	188,639	194,234
その他	45,822	59,984
無形固定資産合計	234,461	254,218
投資その他の資産		
投資有価証券	420,360	394,038
繰延税金資産	1,000,150	903,731
差入保証金	477,874	476,080
その他	74,115	70,863
貸倒引当金	—	△275
投資その他の資産合計	1,972,501	1,844,439
固定資産合計	2,444,507	2,334,553
資産合計	10,660,906	10,674,685

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	358,761	270,057
短期借入金	—	410,000
未払金	278,391	443,882
賞与引当金	900,155	452,933
その他	464,021	435,973
流動負債合計	2,001,329	2,012,845
固定負債		
退職給付引当金	2,046,087	2,086,105
役員退職慰労引当金	381,925	397,206
その他	121,415	90,133
固定負債合計	2,549,427	2,573,444
負債合計	4,550,756	4,586,290
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	6,244,548	6,248,796
自己株式	△1,226,363	△1,226,363
株主資本合計	6,160,212	6,164,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△50,062	△76,065
その他の包括利益累計額合計	△50,062	△76,065
純資産合計	6,110,150	6,088,395
負債純資産合計	10,660,906	10,674,685

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	10,494,097	10,626,825
売上原価	8,629,318	8,787,453
売上総利益	1,864,779	1,839,372
販売費及び一般管理費	1,314,977	1,322,626
営業利益	549,802	516,745
営業外収益		
受取利息	1,200	95
受取配当金	5,246	6,715
助成金収入	16,519	8,236
その他	5,528	7,958
営業外収益合計	28,494	23,006
営業外費用		
支払利息	1,423	1,143
投資事業組合運用損	6,433	627
投資管理費用	2,201	1,935
その他	0	100
営業外費用合計	10,057	3,806
経常利益	568,239	535,945
特別利益		
固定資産売却益	—	101
貸倒引当金戻入額	3,379	—
その他	915	—
特別利益合計	4,294	101
特別損失		
固定資産除却損	173	171
投資有価証券評価損	157,496	—
会員権評価損	—	3,900
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,130	—
その他	3,521	573
特別損失合計	167,322	4,645
税金等調整前四半期純利益	405,211	531,402
法人税、住民税及び事業税	3,857	25,862
法人税等調整額	163,894	330,939
法人税等合計	167,752	356,802
少数株主損益調整前四半期純利益	237,458	174,599
四半期純利益	237,458	174,599
少数株主損益調整前四半期純利益	237,458	174,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	735	△26,003
その他の包括利益合計	735	△26,003
四半期包括利益	238,194	148,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,194	148,596



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計
	通信システム事業	情報システム事業	ネットワークソリューション事業	NID・IS	NID・IE	NID東北	
売上高							
外部顧客への売上高	2,032,589	2,133,473	3,462,064	1,540,627	612,547	712,794	10,494,097
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,314	46,171	52,817	384,463	511,197	16,457	1,044,422
計	2,065,904	2,179,644	3,514,882	1,925,091	1,123,745	729,252	11,538,519
セグメント利益	52,233	188,421	190,299	49,158	30,760	29,697	540,570

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	540,570
セグメント間取引消去	2,457
全社費用（注）	8,694
その他	△1,919
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	549,802

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						合計
	通信システム事業	情報システム事業	ネットワークソリューション事業	NID・IS	NID・IE	NID東北	
売上高							
外部顧客への売上高	2,331,209	2,100,408	3,228,362	1,880,996	615,876	469,972	10,626,825
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,879	38,892	69,734	356,362	508,219	26,672	1,026,763
計	2,358,089	2,139,301	3,298,097	2,237,359	1,124,096	496,644	11,653,589
セグメント利益	2,661	193,402	144,697	102,821	64,160	4,547	512,291

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	512,291
セグメント間取引消去	2,258
全社費用（注）	9,848
その他	△7,652
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	516,745

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

（6）重要な後発事象  
該当事項はありません。